

2016年5月1日

監査役会通信(No.2)

社外監査役 堀口基次

4月12日にパシフィコ横浜国立大ホールにて、第82回監査役全国会議が開催され、参加いたしました。参加者は1,908名。

各社、監査役に対しての期待度が高いということを痛感いたしました。

プログラムの中でカルビー(株)代表取締役会長兼CEOの松本晃氏の講演がありましたので、その一部について記させていただきます。

まず、うまく経営に欠かせない3要素とは何だろうとの質問がありました。

それは、会社の**ビジョン**をしっかりと認識し、ビジョンに基づいて**プラン**を立て、上に立つものは**リーダーシップ**を発揮すること。

カルビーのビジョンは、「**顧客・取引先**から、次に**社員とその家族**から、そして**コミュニティ**から、最後に**株主**から尊敬されそして愛される会社になる」。

会社の存在、そして社会貢献とは、顧客(患者さん)・取引先が何を望んでいるかをしっかり把握し業務を進めることが、重要であるということを強調されていました。

また、吉田松陰の次の名言集を引き出されました。

「夢なき者に理想なし。理想なき者に計画なし。計画なき者に実行なし。実行なき者に成功なし。故に夢なき者に成功なし」

夢を語ることは必要であり、その夢に向かって全社員がどうしたら夢が叶うかを考えることが重要であると強調されました。また、プロセスも大事だが、我々の仕事は、**計画をし、成果を出さなければ企業の存続はない**という認識を社員全員が持つように指導していかないと企業はもたない。

そして、コーポレートガバナンスについて

東芝の不適切な会計処理について監査をされた監査法人も大変な思いをしているが、あの発端は、内部通報からでてきたことであり、社内では充分わかっていたことだが、慢性化してしまったのではないだろうか。常日頃から監査役は取締役だけでなく、社員からも情報が入ってくるような仕組みをつくるべきだと

考えている。

2015年度の不適切な会計・経理を開示した上場企業は過去最多の58社と発表された。2014年度から16社増えている。

内容別に見ると、

- ・利益の水増しや費用支払いの先送りなど粉飾が22社で全体の38%、
- ・経理ミスなど誤りが20社(34%)
- ・着服が14社(24%)だった。

企業のガバナンス強化で不正が多く浮かびあがったとの見方もされているが、要は社員全員が「疑われることをするな」「神の前に正しく」「倫理的であれ」であり、一言でいえば「全てのステークホルダーに責任を果たす」ことであると。

たいへん参考になり刺激を受けた講演でした。

以上